

●今月号の元気な話題●

- * 『仙台・松島エリア』夏休みお出かけキャラバンを開催しました！
【地方振興部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- * 第50回全農乾しいたけ品評会で熊谷幸夫さんが
『林野庁長官賞』を受賞【林業振興部】・・・・・・・・・・・・ 2
- * 今年度も仙台地域の沿岸地においてマラウイ共和国との技術研修を
実施しました！【農業農村整備部】・・・・・・・・・・・・・・ 2
- * 宮城県青年・女性漁業者交流大会で県漁協仙南支所（亶理）
水産加工研究会が最優秀賞に選ばれました【水産漁港部】・・・・・・ 3
- * 仙台産枝豆ブランドの一翼を担って！【農業振興部】・・・・・・・・・・ 3
- ◎ 「第7回 地元の食材・物産一押しフェア」が開催されます！
【多賀城・七ヶ浜商工会】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ◎ 仙山交流味祭inせんだい～秋の恵み～を開催します！【地方振興部】 4
- ◎ 【参加者募集】「地域資源の活用による他地域との差別化」をテーマに
観光セミナーを開催します！【地方振興部】・・・・・・・・・・・・・・ 5

みやぎ水産の日 ●今月のおすすめ●

【マグロ】
おすすめ時期：8月～12月



『仙台・松島エリア』夏休みお出かけキャラバンを開催しました！ 【地方振興部】

「仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン2017」が7月1日から9月30日まで全県で開催されています。

仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会仙台地域部会（構成(15市町村と県)：仙台市，塩竈市，名取市，多賀城市，岩沼市，富谷市，亶理町，山元町，松島町，七ヶ浜町，利府町，大和町，大郷町，大衡村，山形県天童市，宮城県仙台地方振興事務所地方振興部）では、「仙台・松島エリア」の家族で楽しめる夏の観光情報発信キャラバンを7月24日に「仙台うみの杜水族館」，7月25日に「JR仙台駅」で開催しました。

両日とも，各市町村の観光キャラクターが登場し，「各地域のおすすめ夏休みプラン」をPRするなどキャラバンを盛り上げました。県内外から多くの観光客の皆様にご来場いただき，キャラバン限定の観光ガイドブックや各市町村観光パンフレット・特産品のお菓子等の詰め合わせセットをプレゼント（各日400セット）したほか，新企画として「仙台うみの杜水族館」では「各市町村キャラクター塗り絵コーナー」の設置及び「伊達武将隊による演舞」の披露も行いました。また，「JR仙台駅」においては，特産品のお菓子が貰える「じゃんけん大会」も実施し，多くの観光客に大変喜んでいただくことができました。

夏キャンペーンは9月末まで開催しているので，各地のお祭りやイベント等に，ぜひ足をお運びください。



うみの杜水族館（上）・JR仙台駅（下）
でのキャラバンの様子

第50回全農乾しいたけ品評会で熊谷幸夫さんが『林野庁長官賞』を受賞 【林業振興部】

今年の6月15日に鳥取県で開催された、全国農業協同組合（JA全農）が主催する『第50回全農乾しいたけ品評会』で、仙台市の熊谷幸夫さんが栽培したしいたけが、「花どんこの部」で林野庁長官賞を受賞しました。この乾しいたけ品評会は毎年6月頃開かれており、今年で50回目の開催となります。熊谷さんは泉ヶ岳のふもとで原木しいたけと水稲の複合経営を行っています。原木しいたけは栽培を始めてから約40年、品質重視で生産を続けており、震災前にも本品評会では農林水産大臣賞を4回、林野庁長官賞を8回受賞しています。今回は震災後、生産を再開してからはじめての林野庁長官賞となりました。今回出品した「花どんこ」とは、しいたけの品種ではなく、かさが七部開きになる前に収穫したしいたけをいい、通常よりも肉厚で香りも良く煮付けなどにして食べると絶品です。熊谷さんは仙台市内での産直イベントで乾しいたけの販売を多く行っていますので、見かけた際にはぜひお手にとってご覧下さい。

（参考）全農乾しいたけ品評会の表彰点数
農林水産大臣賞6点、林野庁長官賞12点、全農会長賞8点、一般社団法人日本きのこセンター理事長賞10点、全農全和会会長賞6点



林野庁長官賞を受賞した際の熊谷幸夫さん夫婦（左）と熊谷さんのしいたけ



今年度も仙台地域の沿岸地において マラウイ共和国との技術研修を実施しました！

【農業農村整備部】

県ではJICA（独立行政法人国際協力機構）と「みやぎ国際協力隊プロジェクト」の実施に係る合意書を締結し、平成22年度よりアフリカ・マラウイ共和国で農業水利分野の現地活動支援を行っており、平成23年度からはマラウイ共和国から技術研修生の受入れも実施しています。

今年度も7月18日から8月4日までの18日間、マラウイ共和国のかんがい技術者や大学講師等の4名が、研修員として本県で技術研修を行いました。

当事務所管内においては、7月20日に農業土木技術を学ぶ現地研修として、東日本大震災の津波や地震で被害を受けた農地の復旧工事現場や農地海岸の被害状況、復興に向けて新たな標準の大区画化を行っている水田の工事現場などを回り、当部職員が説明を行いました。



大区画ほ場整備現場を見学



農地海岸復旧事業の説明を受ける様子

マラウイ共和国は海が無いので、研修員の皆さんは、震災の津波による被害の大きさに驚くとともに、復旧・復興の経過や自国のかんがい技術の共通点と違いを説明や質問を通じて学びました。

本県における技術研修を通じて得た農業土木技術や発見を自国で活かすとともに、本研修が宮城県、あるいは日本とマラウイ共和国との交流の一助となることを期待しています。

8月10日に石巻市河北総合センターを会場として第16回宮城県青年・女性漁業者交流大会が開催されました。この大会は漁村青壮年・女性グループが取り組んでいる活動の発表を通じ、漁業・漁村の活性化に関する技術や知識を研鑽して沿岸漁業の振興を図ることを目的に昭和28年から実施されているものです。

管内からは2題の発表があり、宮城県漁業士会南部支部から「水産×ITの取り組み～先輩漁業者の経験を数値化して後輩に伝えたい～」と題して、高齢漁業者でも抵抗なく利用でき、漁業経験の少ない人の手助けになるIT利用を目標に、漁場環境情報（水温等）をリアルタイムに、生産者が見たい情報を見やすく閲覧できるスマートフォンのアプリケーションを完成させた取組の発表がありました。また、宮城県漁協仙南支所（巨理）水産加工研究会から「浜に笑顔を取り戻せ！～震災を乗り越えて、浜っ子かあちゃん市6年の軌跡～」と題して、震災前に取り組んでいた「浜っこかあちゃん市」をきずなぼーとわたりの復活に合わせて再開し、地元のおいしい魚の提供のほか、住居移転等で少なくなった部員でも効率的に収入を得られるようマーケティング調査等を行い、工夫しながら活動していることが発表されました。



県漁業士会南部支部(上)と県漁協仙南支所(巨理)水産加工研究会(下)の発表



審査の結果、宮城県漁協仙南支所（巨理）水産加工研究会が最優秀賞に選ばれ、3月に東京都で開催される全国青年・女性漁業者交流大会に県代表として推薦されることになりました。

仙台産枝豆ブランドの一翼を担って！

仙台市とJA仙台では、仙台産枝豆を新たな特産品とするため、栽培方法や流通システムを構築して、高品質な枝豆を消費者や実需者へ提供する「仙台枝豆プロジェクト」に取り組んでいます。

その一環として、仙台市内の飲食店で「今朝採り枝豆」が提供されています。鮮度が落ちやすい枝豆を、収穫から提供までの時間をできる限り短くすることで、枝豆本来の美味しさをご賞味いただくものです。



仙台・宮城元気ニュース [3]

そのプロジェクトに参加している、(農)せんだいあらはま(農)六郷南部実践組合では、旬の枝豆を提供するため、本年度、補助事業を活用して収穫から選別まで一貫した機械化体系を確立し、収穫適期を逃すことなく、高品質な枝豆の生産・供給に取り組んでおります。手作業から機械化することで、適期作業による品質向上のみならず、規模拡大も図られ、両組合で合わせて6haの作付を目指しています。

早生から晩生まで、仙台の気候にあった美味しい品種を組み合わせ、より長く仙台産枝豆を楽しんでいただける枝豆づくりに取り組んでおります。

皆様も是非御賞味ください。「今朝採り枝豆」は以下の店舗で提供されていますので、確認の上来店してください。

仙台枝豆プロジェクト (Ameba) <http://ameblo.jp/sendai-edamame>

(Facebook) <https://www.facebook.com/sendaidamame>

仙台産枝豆 (伊達美味DATEUMA) <http://www.dateuma.jp/menu/edamame/>

「第7回 地元の食材・物産一押しフェア」が開催されます！ 【多賀城・七ヶ浜商工会】

多賀城・七ヶ浜産の新鮮な野菜や魚介類を活用した料理やお菓子、多賀城市、七ヶ浜町にゆかりのある名称の物産などを地域飲食店などで提供します。

また、異なる3店舗以上のスタンプを5つ集めて応募すると、先着100名に参加店共通1,000円割引利用券をプレゼントする「スタンプラリー」も実施します。

参加店は27店舗。和食や洋食、寿司、特産品など盛りだくさん。お友達やご家族等をお誘いの上、ぜひ、地域の味覚等をお楽しみください。

詳しくは、参加店や商工会ホームページでご確認ください。



※参加店はこの「のぼり旗」が目印です

期間：平成29年9月1日から10月31日まで

問合せ先：多賀城・七ヶ浜地産地消研究会

事務局：多賀城・七ヶ浜商工会

連絡先：022-365-7830

HP：<http://www.taga7.miyagi-fsci.or.jp/>

仙山交流味祭inせんだい～秋の恵み～を開催します！

【地方振興部】

仙山交流味祭せんだいネットワークと仙台地方振興事務所では、仙台地域と山形県村山地域の交流促進と地産地消の推進を目指して、両地域の旬の特産品を一堂に集めた産直市「仙山交流味祭inせんだい～秋の恵み～」を開催します！

食欲の秋にぴったりな農産物や海産物が盛りだくさん！皆様お誘い合わせの上、ぜひお越しください！

日時：平成29年10月11日（水）～12日（木）

午前10時～午後4時（雨天決行）

※時間は前後する場合があります。

場所：勾当台公園市民広場（仙台市青葉区）

◆お問い合わせ◆

* 仙山交流味祭せんだいネットワーク事務局

((株)サム・コミュニケーションズ内)

Tel：023-687-1925

* 宮城県仙台地方振興事務所地方振興部

Tel：022-275-9114



【参加者募集】「地域資源の活用による他地域との差別化」をテーマに 観光セミナーを開催します！

【地方振興部】

地域資源を活用した観光客誘客のためのノウハウを学ぶセミナーを開催します。

観光振興に関わる方（商工・観光関係者、地域づくり関係者、市町村など）の参加を募集します。（定員90人、先着順、受講料無料）

1 開催日時

平成29年9月26日(火曜日) 午後1時30分～午後3時30分(午後1時受付開始)

2 開催場所

宮城県庁 1F みやぎ広報室（宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号）

3 内容

事例発表 「地域資源の活用による他地域との差別化」

発表者 一般社団法人気仙沼地域戦略 理事長 菅原 昭彦 氏

（気仙沼市出身、(株)男山本店 代表取締役社長、気仙沼商工会議所 会頭）

東日本大震災で気仙沼市の産業の8割を占める水産業は95%が破滅状態となり、水産業のみならず、観光業についても大きな被害を受けた。この状況を打開するため、行政の外側に観光戦略を推進していく機関を設置し、民間の力を活かした観光振興を図ることや、観光事業者だけでなく、気仙沼市民の発意を促しながら、柔軟に観光振興が行えるようにすることが重要であると考えた菅原氏が、これまで展開してきた地域資源を活用した様々な観光戦略の取組事例や今後の展望を紹介いただきます。

4 参加申込

申込用紙に必要事項を記入し、9月20日（水）までに、「5 お問い合わせ」のファックスまたは電子メールにてお申し込みください。申込用紙は仙台地方振興事務所HPからダウンロードしてください。

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/>

5 お問い合わせ

仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会仙台地域部会事務局

（宮城県仙台地方振興事務所内） 担当：藤田

〒981-8505 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

電話：022-275-9140（受付時間：平日午前8時30分～午後5時15分、土日祝日は休み）

ファックス：022-275-0296 / 電子メール：sdsinbk2@pref.miyagi.lg.jp



問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部（白石）

TEL：022-275-9140 FAX：022-275-0296 E-Mail：sdsinbk2@pref.miyagi.lg.jp

HP：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/>

※次号は平成29年10月下旬発行予定です。